

自然教育園とは

自然教育園は、大都市「東京」の中心部にありながら、今なお豊かな自然が残る、都会の中のオアシスともいえる貴重な森林です。その面積は約20haと東京中心部では有数の広さを誇りながら、その全てが天然記念物に指定された保護林になっています。

園内には、イヌシデ、ケヤキなどの落葉樹や、スダジイ、カシ類、マツ類などの常緑樹からなる森林が広がるほか、ススキやヨシの草地、池、小川などがあります。このような自然を活かした各種の植物園が整備されており、四季にわたって様々な植物、鳥、昆虫などの生きものを身近に観察でき、これまでに植物は約1500種、昆虫は約2000種が確認され、飛来した鳥は約130種に及びます。

なお、自然保護のため、基本的には殺虫剤や肥料を使わずに植生管理されており、本来の自然が保たれています。

利用上のルール

-  虫などの動物をつかまえてはいけません
-  お酒を飲んではいけません
-  花や種などを持って帰ってはいけません
-  ごみは家に持って帰ってください
-  ペットなどの動物や、植物を持って来てはいけません
-  園内でランニングはできません
-  遊びの道具などを持って来てはいけません
-  大きい音を出してはいけません
-  火を使ってはいけません
たばこを吸ってはいけません

後世に伝えるべき大切な自然です、ルールを守ってご利用ください

利用案内

開園時間

- ・5月1日～8月31日 9：00～17：00（入園は16：00まで）
- ・9月1日～4月30日 9：00～16：30（入園は16：00まで）

休園日

- ・毎週 月曜日（祝日・休日の場合は開園し、火曜日が休園）
- ・祝日の翌日（土・日の場合は開園）
- ・年末年始（12月28日～翌年1月4日）

入園料：一般 320円

- ・高校生以下、65才以上の方は無料（要証明書）
- ・障害者の方とその介護者1名は無料（要障害者手帳等）

アクセス



天然記念物及び史跡

科博 自然教育園 (港区白金台)
Institute for Nature Study, National Museum of Nature and Science

〒108-0071
東京都港区白金台5-21-5 TEL. 03-3441-7176
<https://www.ins.kahaku.go.jp>

- JR山手線目黒駅東口 及び 東急目黒線目黒駅より目黒通り 徒歩約9分
- 東京メトロ南北線 及び 都営地下鉄三田線白金台駅1番出口より目黒通り 徒歩約7分

国立科学博物館附属

自然教育園

大都会で出会う、
癒やしのオアシス

天然記念物及び史跡

自然教育園の歴史

自然教育園の生い立ちは、今から400～500年前の豪族の館からはじまります。江戸時代は、高松藩主松平頼重の下屋敷となり、明治時代は



陸・海軍の火薬庫、大正時代には白金御料地と歴史をかさねてきました。この間は、一般の人々が立ち入ることができなかったため、この地に豊かな自然が残されました。その後、1949年に天然記念物及び史跡に指定され、一般に公開されるようになりました。この貴重な自然及び歴史遺産を、将来にわたって適切に保存・活用し、次世代に継承していくために「保存活用計画」を策定しています。

自然教育園の年表

年代	主なできごと
5000 年前	この地に人が住みつく
1500 年頃	太田新六郎（白金長者）が館を構えたといわれる
1664 年	松平讃岐守頼重（高松藩主）の下屋敷となる
1872 年	軍の火薬庫となる
1917 年	宮内省の白金御料地となる
1949 年	「天然記念物及び史跡」に指定され、国立自然教育園として、一般公開される
1959 年	首都高2号線が自然教育園を迂回するように計画変更となる
1962 年	国立科学博物館附属自然教育園となる
1978 年	地域住民の反対運動により近隣のホテル建設が中止になる
2004 年	外来魚から在来魚を守るため園内の3つの池を浚渫する
2019 年	台風により樹齢300年の「おろちの松」が倒伏
2022 年	保存活用計画を策定

A 武蔵野植物園

薪炭や肥料として人々が利用することで維持されていた「武蔵野の雑木林」をイメージした植物園です。初春に咲く植物をはじめとする多様な植物を見ることができます。



4 紅葉とひょうたん池

カエデ類、ケヤキ、ムクノキなど何種類もの樹木が鮮やかに色づき、都心とは思えない程、静かで落ち着いた紅葉が味わえます。また、ひょうたん池に映る紅葉も見応えがあります。



12月上旬

6 森の小道と小川

「森の小道」は、ケヤキやミズギが覆う木陰の中をひっそりと進む遊歩道です。東側には小川が流れ、水辺の自然の広がりや植生のグラデーションを静かに感じられます。

8 台風により樹齢300年の「おろちの松」が倒伏

B 水生植物園

池や湿地をはじめとする多様な湿性環境を維持している植物園です。このような立地を好んで生育するさまざまな植物のほか、カモ類や魚類、昆虫など水辺に生息する動物の姿も観察できます。



1 館跡

園内各所には、周囲からの外敵や野火を防ぐために築かれた土塁が残っています。この辺りは土塁がコの字状に築かれていることから館（やかた）があったと推定されています。

7 水鳥の沼

水鳥の沼は地下水が湧き出す自然教育園の水源の1つです。カモ類やサギ類など、多くの水鳥が訪れ、自然の多様性と静けさを感じることができます。

3 物語の松

「物語の松」は、樹齢約300年の老木です。1600年代に、松平讃岐守の下屋敷の庭に植えられたとされ、その名と姿は当時の回遊式庭園の面影を今に伝えています。



自然保護地域（非公開）

自然教育園は大部分が非公開地域です。ここでは、人の影響をできるだけ排除して、自然の生態系をまるごと保存し、都会の森林がどのように変化していくのを見守っています。

5 サクラ並木と湿地

池や湿地に沿ってサクラ並木があります。春の満開時には花と水面の繊細な景観が広がり、隣接する湿地では多様な湿生植物が見られます。

2 スダジイの巨木と土塁

園内にはスダジイの巨木が多く残っており、大きなものでは樹齢は300年近いとされています。土塁上には、この巨大なスダジイも含め幹回りが4m近い巨木が多く見られます。

C 路傍植物園

入口から約200mの区間では、山野の道端に生育する植物を中心に展示しています。チョウなどの昆虫も数多く訪れ、四季折々に様々な景色を楽しむことができます。

教育管理棟

自然教育園の自然を紹介した各種展示や休憩スペースがあります。また、ミュージアムショップも併設しています。

3月下旬

